

第27号

発行日:平成12年5月1日

発行所:

東京青山同窓会事務局

〒107-0062

港区南青山3-18-4-304

(有)ジェイ・クラブ内

TEL. 03-3423-3591

発行者:佐藤 邦雄

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—

1口/1,000円2口以上(年間)

会計幹事:山根 伸之(64回)

振込先

安田信託銀行 虎ノ門支店

普4046552 東京青山同窓会

郵便振込口座 00150-9-4074

平成11年度 東京青山同窓会総会

平成11年11月12日(金) 於: ホテルニューオータニ

1999年度の東京青山同窓会総会は、11月12日(金)、6月の新人歓迎会と同じホテル・ニューオータニで開かれた。毎回、総会議事だけでなく、アトラクション、懇親会をどう盛り上げるか、事務局局長を中心に、学年幹事会は頭を悩ます。今回は、ゲストとして美術の故関口孝吉先生のお嬢さん、ヴァイオリン奏者の関口智子さんをお迎えすることにした。

ヴァイオリンを鑑賞するのに、乾杯の後とはいかがなものかとなり、関口さんには総会議事の後、懇親会の前に演奏をお願いした。そのため、総会議事はできるだけ簡潔に進めようとの事前の申し合わせであったが、栗林会長挨拶をはじめ、来賓の上村青山同窓会会長、青木校長の挨拶まで、すべて予定どおりという見事な連係プレーであった。今回は役員改選があり、新しい副会長に坂井俊一氏(64回)、幹事長に佐藤邦雄氏(75回)、事務局局長に日下部朋子氏(82

回)が選出された。

関口智子さんの選曲は、老若男女、クラシックファンから演歌好きまでの不特定な聴衆に配慮されていた。ビゼーのカルメン組曲から「ハバネラ」あり、懐かしい童謡「砂山」や、美空ひばりの「川の流れるように」を交えて、聴く人をあきさせない熱演であった。

懇親会では、「自己・会社PRタイム」も交えてそここに交換風景が見られたが、新人歓迎会に続いて出席する現役学生など、若い会員の参加も目立った。

最後の応援歌「青山」合唱とエールの音頭は、74回卒の菊池隆君がとった。青山同窓会は多士済々である。菊池君のお嬢さんは、2000年1月12日にハワイで西武ライオンズの松井選手と挙式した、タレントの菊池美緒さんである。

総会参加者120余人。赤坂見附に流れての2次会も、若い人を中心に盛況であった。

総会報告(池一 74回)

平成10年度決算報告及び11年度予算

収入の部(千円)

費目	10年度決算 H10.10.1/11.9.30	11年度予算 H11.10.1/12.9.30	備考
前年度繰越金	1,782	2,026	
年会費	2,164	2,300	1,150名×2,000
総会々費	1,130	1,300	160名
新人歓迎会 (講演会)	809	840	120名
協賛金	3	30	カード20枚×1,500
本部補助金	500	500	
雑収入	4	4	
合計	6,392	7,000	

支出の部(千円)

費目	10年度決算 H10.10.1/11.9.30	11年度予算 H11.10.1/12.9.30	備考
総会費	1,315	1,500	
新人歓迎会費	1,079	1,200	
事務局費	163	200	
会議費	33	130	
通信費	776	800	
印刷費	938	1,000	会報2回発行
振替手数料	62	70	郵便扱い
次年度繰越金	2,026	2,100	
合計	6,392	7,000	



ごあいさつ 「楽しさと有益さと」

会長 栗林貞一(59回)



東京青山同窓会の皆さん
お元気ですか。四季は移り、今年も新人歓迎会の季節となりました。胸をふくらませて上京してきた

後輩の新人達を暖かく迎え、にぎやかに激励してあげましょう。6月の新人歓迎会では、今年も同窓生の講演と懇親会を予定しています。講師はつい先日まで東京高等検察庁検事長の職にあった村

山弘義さん(63回)にお願いしました。今まで数々の要職を歴任され、世の中を厳しく見つめてきた方です。現在はその名も嬉しい青陵法律事務所を開設しておられます。どうぞご期待下さい。昨年の講師は秋のエベレスト初登頂の石黒久さん(73回)でしたし、青山の多士済々ぶりはすばらしいものであります。

ところで高城英雄さん(60回)の肝入りで今年から偶数月第2火曜日の会が始まりました。場所は新橋・新橋亭(新館)。午後7時からです。年2回の総会・新人歓迎会では顔合わせの機会不足を感じておりました。この会は有志が自由に、自発的に集まり、飲みかつ語ろうというものです。前回の4月11日(火)には幹事会も兼ねたのですが、40人程の出席があり、盛会でした。やはり顔を合わせる機会は多いほうがよいわけで、話も

はずみ、新しい前向き話が生まれます。今後もこの会を活用し、楽しく親睦を深めつつ、いろいろの面で相互に助け合い、協力し合って行きたいものだと思います。

われわれの青春を育んでくれた母校は間もなく創立110周年を迎えます。新しい本校舎も出来上がり、そのほかの施設も近く完成するようです。皆さんのところには新潟の青山同窓会から記念事業に当てるための寄付金の依頼がいつていると思います。後輩を元気づけるためにもそれぞれ応分の協力をしていただきますようお願いいたします。

それでは6月23日(金)新人歓迎会会いましょう。

同窓会のクラブハウスとなるか 偶数月の第2火曜日の会

東京青山同窓会としての定例の会合は、6月の新人歓迎会(講演会)と11月の総会の年2回となっていますが、もっと気軽に集まれる機会を、という会長の発案を受け、60回高城英雄氏のご尽力により「偶数月の第2火曜日の会」がスタートしました。場所も集まりやすいようにと、新橋駅前の新橋亭(しんきょうてい)新館と決め固定としました。

今のところ学年幹事を中心に声がけをし、三々五々集まって気楽に交流が展開しています。場所も日にちも固定ですので、ちょっとした飲み会のつもり、または小さな同期会のつもりでお誘い合わせの上ご参加ください。

<年内予定>

6/13、8/8、10/10、12/12、7:00p.m.～

詳細は事務局・日下部まで

(03-3423-3591)

寄稿

オリンピック景気に沸くオーストラリアでビジネスを!

木村 和人 (90回)

本年9月15日から10月1日にかけて、オーストラリア・シドニーにて第27回オリンピックが開催されます。オーストラリアでのオリンピックは1956年のメルボルン大会以来44年ぶりのことで、スポーツ大陸オーストラリアは次第に盛り上がってきたところです。この会報が発行される頃には27,000キロ・11,000人の手によるオリンピック史上最長の聖火リレーが始まっていることでしょう。オーストラリアらしくインディアンパシフィック鉄道、サーフィン、フライイングドクターと陸・海・空による聖火の輸送も行われます。ところで、「南半球の9月はまだ冬なのでは!」というご質問をよく受けますが、この時期のシドニーは日中の気温は20度前後、雨が少なく、日本人選手にとっても理想的な気候になると思います。

私が勤務するオーストラリア貿易促進

庁という役所は、オーストラリアからの輸出サポートおよび対オーストラリア投資の誘致をしており、その中で私は日本企業の海外プロジェクトにオーストラリアのパートナーや機器をご紹介する分野を担当しています。日頃はアジアへの出張が多いのですが、オリンピック時期にあわせてなんとかオーストラリア出張の機会を伺いたいとビジネスチャンスを探しているところです。日本人の場合、オリンピック中の開催地に出張することに罪悪感を覚える方が多いようですが、皆様もぜひこの機会に現在とても景気のよいオーストラリアを視察しながら新規ビジネスを検討しませんか? 日本でのオーストラリアのイメージは未だに観光、天然資源、農産物なのですが、ハイテク技術、教育、医療等の分野において、小さいながらもキラリと光る企業が多数あります。ご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

(連絡先)

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート7階・オーストラリア大使館 マーケティング事務所(別館)

TEL:03-5214-0758

E-Mail:kazuto.kimura@ustrade.gov.au



同期会報告

58回「東京玲瓏会」

斎藤茂

平成11年度、第58期の「東京玲瓏会」は、10月15日金曜日に、安田信託銀行市ヶ谷ハウスに於て開催されました。

当日、首都圏在住の同期生の外、新潟より大関允良君、加藤高弘君、新発田より近寅彦君、仙台より武山恒男君(初)、豊川より高橋三男君、枚方より豊岡孝治君(初)に加え、在京初参加の佐藤富良君も元気に参じ、総勢33名の賑やかな顔ぶれとなりました。

乾杯の音頭は、長年清水建設で鍛えられたその道のベテランの宗村泰四郎君の発声で、パーティーはスタートしました。

加藤高弘君より、「校舎竣工及び創立百十周年記念事業」の募金の趣旨が説明され、一同思いを青陵城に馳せました。

世の中、未だバブルの後遺症の爪痕も完治せぬまま、不安な日々であります。同期会の諸君は、童顔さながらの元気一杯に、一堂に集まることの出来たこ

とは、何よりの幸せと喜び合いました。皆、高校時代に戻っての、楽しい歓談の二時間の無情を感じさせられました。

次期幹事を引受けられた浅田秀雄君の音頭で、校歌斉唱、応援歌合戦をして、過ぎ去りし青春時代を偲び、最後に、これまた、佐藤工業で長年教育されてきた佐藤格君の大声での一本締めで、来年の「東京玲瓏会」、平成13年の「古稀記念、新潟、東京合同玲瓏会」、平成15年の「母校創立百十年祝賀会」に元気な顔を揃える事を、確認し合って、散会と終わりました。



60回同期会報告

高城英雄

1月18日(火)午後6時30分青山同窓会偶数月会合の場所として今年から次第に馴染みとなってきた、新橋にある新橋亭で60回生の定例賀詞交換会が43名の出席を得て開かれた。このところ毎年物故者が出てきているので、同期の小池健治弁護士が、「次第に終を迎えるに当たって心得ておきたいもの」と言う演題で講演

を約30分行った「女房大切」を第一にそれから「遺言」の準備、公証人や弁護士をその際には忘れずにとの内容で、質問等が交わされた。

卒業以来と言う石田章君や新潟から特別参加した、小林昭二君、山崎賢隆君夫妻、市川豊君、佐々木城君達からそれぞれ近況報告があり、又新潟のMUZO会と合同で今年は海外旅行をしよう、目的地は中国の銭塘江の大逆流見物と黄山と言う提案があり、2001年1月マゼランとダーウィンが活躍した南米アルゼンチンの南の果てを訪れる旅と併せて実行す

ることとなった。旅行は同じく60回で旅行会社をやっている高城英雄が担当する事になった。

又、2月23日(水)新潟横越の法幢寺で午後2時から前出の山崎賢隆和尚の読経と祈祷で「長生きと無病息災」を病氣あがりの斎藤卓史君を交えた仲間の祈念をし、お払いをして貰った。これでここ数年は大丈夫と村杉温泉長生館に場所を移し39名の懇親会が始まった。席上、小林智明君から中国旅行の発案があり、了承された。その後酒を酌み交わし談笑に花を咲かせたり、夜を徹して碁をしたりして再会までの時を惜しんだ。

因みに、旅行は9月13日東京、新潟それぞれ発で蘇州、杭州(銭塘江の逆流観潮)黄山の7泊8日198,000円で実施することとなっている。参加に興味のある方は、03-3433-5544高城英雄まで。

原稿募集

編集部では、各回の楽しい同期会の報告の原稿を募集しております。写真と共に事務局まで原稿をお寄せ下さい。



61回 同期会報告

ドタキャン阿部亜生の家族愛に
心洗われた東京青山61期会
サイパン・ゴルフツアー

とうわけで、フツーなら幹事は大慌てするところだが、元JALで、現在もADOで航空第一線の徳田晋也が「まかしんしゃい」のひと言で、問題なく5月21日に出発。

実は一阿部の家族(コツカスパニエル種)が大往生。「15年も一緒に暮らし、悲しみと思い出が胸にひしめき合って、とてもゴルフをやる気持ちになれない。悪いけどキャンセル」と。

サイパンに向かう機中で、金子章から阿部の事情を聞かされ、その愛情の深さに全員が心うたれ、夫人たちはウルウル。

日航ホテルでは一日前に先発した小林元雄が、日焼けした顔で迎えてくれる。たった一日でこの有様では先が思いやられる。

ゴルフは、ラウラウ(イースト・コース)とキングフィッシャーで2ラウンド。500mlのミネラルウォーターが3.5\$の火事場泥棒価格。加えて暑さもハンパじゃない。

が、白く波が砕けるリーフ、群青色の海、燃えるブーゲンビリア、清楚なブルメリア、火炎樹をわたるキングフィッシャーの美しさと相殺で、ま、いっか。

道子夫人がニヤピン2つ。自分もドラコンを獲った村山健。1ダースもボールをフイピン海峡に打ち込めば賞のひとつくらいは。

素振り無しの「ゼンギ(漢字では恥ずかしくて)なき戦い」で好スコアをマークした大橋恒夫。賞レースにかすりもしなかった風間博・陽子夫妻。同様に収穫なしの金子章は、「オレはもうシーサイド・コースは参加しない」と表情はいまいち。が、弘子夫人はニヤピンをゲット。

19番ホールはホテルのピアノ・バー。

ビールの銘柄にこだわりを持った安宅久憲。

愛唱歌の「思い出のサンフランシスコ」をリクエスト。「これが聞ければビールは何でもいいや」と上機嫌。

ドラコンもロングパットもビシビシ決めた佐藤敏夫は舌好調だったが、履いて来た花柄パンツで「水着に見えるだろう」と泳いだのをバラされ、急に無口。

夫人たちはプレスリーやカーペンターズの50〜60のナンバーと、亭主の悪口で盛り上がる。

帰国の4日目は島内観光。軍・官・民が米軍に追いつめられ、断崖から海に身を投げたバンザイクリフ。その壮絶さに見とれて、「慰霊碑に手を合わせたのは小林ひとり。それを見てオレも手を合わせたが、戦争はやっちゃいけない」と反戦を誓った大橋。

免税店での買い物は20分間の制限つき。それでも関屋中学OBのセントアンドリウス遠征(今年で3回目)の10日間で7ラウンド。観光、買い物一切なしのゴルフ漬けに較べれば、まだ、ましと余裕というもの。

自分たちのものより、孫への土産に集中したが、「お達者クラブ旅行会」じゃないんだから。

小林の一本締めで、「スコアより、一日が楽しければいい」とうサイパン・ゴルフツアーは終わった。

64回同期会報告

47名が参集してにぎやかに

川崎 明

64回生(昭和31年卒)同期会をさる2月19日(土)18時〜20時、霞ヶ関ビル33階の「東海大学校友会館」で開催した。

前回、2年前の2月20日に開催したので大半の人たちは2年ぶりの顔合わせであった。

しかし中には卒業以来44年ぶりという

人たちもいて、懐かしい交歓風景を展開していた。

わが同期は、坂井俊一君が長年東京青山の幹事長(現在副会長)であり、山根伸之君も会計幹事の要職にあることから、会費納入者の人数でも、新人歓迎会・総会出席者数でも他の期に比べても多くいつもにぎやかである。

同期会は前回62名、今回は47名とまずまずの盛況で、年に何回か顔を合わせる同士が核になり公私のおつき合いやら、仲間たちの動静について情報交換がされている。ここ1〜2年で第一線をリタイヤした人が増え、そのことも集まる人が多くなる理由になっているかもしれない。

今回の世話人代表は中島仁君で、同君をはじめ前回やむなく欠席した人たちが中心となって動いてくれた。

今回は返信ハガキの近況欄を出欠にかかわらずそのままコピーして名簿にしたのがアイデアである。問題は、欠席者に郵送する経費が出ないことだ。次回以降の課題といえる。

それにしても50名ほどの人からは返信が無いことが誠に残念である。世話人(幹事)をしていて、やるせない思いを禁じ得ないのはこのことである。

東京青山の事務局でも、会報の発送先について同様の悩みがあると聞く。いっそ次回には「向後案内無用、名簿抹消願いたし」という回答項目を設けようかと思ったりしている。

わが同期では、新潟県内在住者と合わせて物故者が35名(うち前回以降4名が逝去)、住所不明者が30名となっている。今回の名簿に載せた人数は110名余(新潟県外)となった。

さて、会の方は小生の司会で、中島代表世話人が開会あいさつ、坂井俊一君による乾杯、山根伸之君が東京青山の近況報告と協力要請、新潟から駆けつけて



くれた若槻晃一君が新潟の近況…とす
すめたが、いつものことながら時間はあ
っという間に過ぎてしまう。

高橋洋君が中締め乾杯のあと、那須
から遠来の中村輝久君、異色の同期生
三国六朗君のあいさつでお開きとした。

なお、三国君は近年短歌を研さんして、
昨年は「文芸埼玉」で入選の栄に浴した
という。幸便で近詠2首を紹介しよう。

度重ね夢に現のあの街は
何処に在りや不思議な屋並み

青雲の夢果たしたるわれも居る
多元宇宙の見知らぬ地球

選者の杜澤光一郎氏(埼玉新聞社)に
よれば「特異な個性を感じさせた、不思
議な詠風」との評であった。

末筆になったが、幹事のひとり坂井敬
君が高校時代の卒業アルバムなどを持参
してくれたので、開会までの懇親タイムで
大いに話題になった。感謝して報告に加
える。

(出席者)

植村頼音、牛木容三郎、大倉孝男、太田
健治、川井文夫、川口徹、川崎明、木山
清、近藤護、斉木幸彦、坂井敬、坂井俊
一、坂本昌弘、佐藤章、佐藤茂司、真田靖
士、柴野数雄、清水(山内)裕子、清水良
男、菅野勝、須田嶺治、早福昭介、高橋正
幸、高橋洋、高見浩、田戈邦彦、田巻亮、
津野慶浩、中川透、中島仁、中村輝久、西
垣昭、西野貢司、中山隼彦、平石次郎、藤
川昇三、星満、堀越慧、堀越由美子、榊湯
晴夫、松永邦夫、三国六朗、諸橋晃、山根
伸之、若槻晃一(以上47名)

エッセイ

愛は新しい虫

北澤(久保田)浩一/85回

時々、新潟に帰ります。「とき」の頃が学生
の頃で、あるいは三国峠を車で飛ばしてい
たのが20代の半ばくらいだったでしょうか。
あの頃、私は馬鹿でした。今はどうかとい
うと、あまり考えないようにしています。三国峠
には猿がいて、一回だけ実物を見たことが
あります。話しかけたけれども、あっさり視線
を逸らされました。

新潟県に入りますと、沢山の温泉や旨い
酒があります。立ちよる余裕があれば良い
のですが、なかなかそうもゆかない。ただ漠
然と、放課後の松林とか学校町をぶらぶら
していたことが薄い夢のように思い出され
ます。

我が校の大先輩にはご存知の通り、坂口
安吾がいます。安吾の碑は、護国神社から
日本海を眺めています。「ふるさは語るこ
となし」その上によじ登り、隣の女子高校の方
から差し入れられた弁当を食べていたのが
多分16か17の頃でしたでしょうか。あの卵サ
ンドは旨かった。ボロボロこぼれたけれども。

護国神社の前庭で、青陵祭の練習をした
ことも憶えています。夕焼けは本当に綺麗で
した。三年に進級した頃ですか、応援歌を後
輩たちに教える時間がありました。伝統的な
行事です。髪を長くしてツツパっていた私が竹
刀を持ち女子学生の前で立っていましたら、
その後輩、彼女が泣き出しました。私はなん
にもしていない。その後、教務室に呼ばれて
絞られたのですが、体育教官の先生に、「ま
たおまえか」ととりなしていただきました。その
後、教官室の床全部の雑巾がけをさせられ
たことを、昨日のこのように思い出します。

今回添付した写真は、亀田の辺りで撮
った雨上がりのキャベツです。私はコピーラ
イターですので、そこに前述のコピーを添えま

した。ある企業の販促に使ったものです。モ
ノクロですと、この背後に青い虫がいるかも
しれないという感じは薄れるかもしれない
ですね。土の濡れた畑の辺りで、しゃがみ
こんでキャベツにレンズを向けていたと想像
ください。

最近、IT革命という言葉をよく聞きます。
私はその末端でこのようなものをつくる仕事
をしています。PDFという電子的な紙の上で
広告表現を行ったり、あちこちにつかない文
章を書くことが日常です。デザインや写真な
ども手がけます。デジタルという次元では、そ
れらがみな等価に扱われるからですが、メ
切前には、なんの因果でとほとんど泣きなが
らモニターに向かっていきます。

「愛は、新しい虫」

「虫のいどころ」という言葉がありますが、私
達の文化は「虫」という単語に様々な意味
を持たせています。

虫が好き、好かない。虫の知らせ。云々。
虫というのは、飼うに厄介で、でも全くいない
というのもやや寂しい。誰かを好きになるとか、
子供が産まれるとか、そういったことは新しい
虫を飼ってゆくことなのかもしれません。それは
基本的に厄介を含んでいます。

ただ、面白いと思うのは、自分の中にはあ
の当時の虫が確かに棲んでいるのではない
か、と思える瞬間がたびたびあることでした。

当時の虫は16、7の顔つきをしています。
生意気で、間が抜けていて、何をしていたか
分からず、自分を持て余していました。

その虫は代々繋がっていて、今もどこかで
ちょろちょろしています。

ふとした隙間に顔を出してきます。

なんてことはない、ただ新潟高校に在籍し
ていたという、それ
だけの気配なので
すけれども。



同窓生Yellowpages

白鳥十三展

画家

白鳥十三(75回)



白鳥十三氏(右)

2年振りの個展です。個展となるとどうも敷居
が高いようですが、どうぞ気兼ねなさらずお立ち寄
り下さい。「青山同窓」とおっしゃって頂けたら、
お茶、お菓子、お酒なんでもおもてなし致しま
す。堅苦しい絵画鑑賞とひと味違う体験ができ
ると思います。

白鳥十三展

2000年5月29日(月)～6月3日(土)

a.m.11:00～p.m.6:00 (最終日はp.m.5:00まで)

サエグサ画廊2F

東京都中央区銀座3-5-7 TEL 03-3567-8531

連絡先〒151-0071 渋谷区本町2-39-10

TEL/FAX03-3374-6585

E-Mail:shiratori@mfv.biglobe.ne.jp



松林(30号)

84回ミニ同期会

島津 孝

1998年12/19忘年会13名、1999年2/16(星野郁夫一時帰国による)緊急飲み会14名、1999年5/15新潟高校を84回ぐらゐに卒業した連中の同窓会8名、1999年10/2山田真幸と大崎ニューシティー番どりで飲んでるので適当に飲みに来て!会(硬式テニス部OB、OG会)3名。

これが最近、我々84回卒業生を中心とした飲み会の状況です。最後が尻すぼみの感があって忘年会はおろか、今年に入っても休眠状態になっている(幹事役の私がさぼっている?)のがちょっと残念に思っている処です。

単純に同期会とくっつてしまえないのが、この会の特徴と言うか良いところと思っています。

実際、85回の奥村基君は、同期の兄の玄君がなかなか参加できない代わりに常連になっているし、同じく久保田君や、82回の日下部さんも主要メンバーになっています。

飲み会そのものは、20年前ぐらい前から不定期的に、思い出したように行なわれていて3~4人の時もあれば、20人ぐらいの時もあるといった具合で、参加者も各々の兄弟や、会社の同僚や、新潟の他校の出身者を伴ってくる事もしばしばですが、違和感無くときこめ一緒に飲んで騒いで楽しめるのがこの会です。参加メンバーはインターネットでネットサーフィンをするが如く、友人から友人へと輪を広げていったもので、現在は確実に連絡が取れるメンバーは約30名程度に



なっています。

住まいや職場が都心から離れていたりと、金曜日の青山同窓会には参加できないメンバーが参加し易い様に、基本的に土曜日の夜に行う様にしていますが、それでも全員集まるのは難しく連絡は取れるものの、参加できず残念な思いをしているメンバーもいます。以前は電話で連絡しあって、場所も口頭で説明して集まるパターンでしたが、最近は、EメールとFAXが主な連絡方法になっています。場所もインターネットで探し、場所のホームページをメッセージとメールで送るか、プリントしたものにメッセージを書いてFAXしています。出欠の返事もEメールかFAXで返送されます。もっともどちらも無く本人も留守がちで、奥様に時間と場所を説明しなければならないメンバーもいますが……。

私としては、ささやかでも末永く続けていけたらと思っていますが、ミレニアムの今年は卒業後1/4世紀でもあるので、何とか盛大な同期会を行なうべく頑張りますので、84回同期の諸君宜しく願います!



TOPICS

菊池隆氏(74回)のお嬢さんが西武ライオンズの松井稼頭央選手と結婚されました。喜びととまどいがないまぜになった花嫁の父・菊池氏(写真左端)の表情が読みとれるでしょうか?



2000年1月12日
ハワイ島
モクアイカウア教会

今どきUターン事情

前田豊(88回)

東京青山会の皆さん、お世話になりました。昨秋総会の後、新潟に転居しました。できる限りご案内いたしましたがこの場をお借りして御礼申し上げます。前田は新潟で元気にやっております。なにしろ新潟が元氣ですから。すごく多忙の毎日です。今回はその報告をさせていただきます。

総会のあと、退職、転居し、年内いっぱい失職しておりまして職安と企業参りをしておりました。

1月2日3時は恒例の88回同期の新年会です。秋に結婚した石附秀樹君、奥さんがおめでたでおめでとう。

1月6日新しい職場に初出社です。トヨタの輸入車販売チャンネルでの営業です。日本で最もお客様満足度の高いメーカー(VW)を取り扱ってます。たまたま、同期の田村正毅君が来店されお客様になってもらいました。やはり同期の明子さんと結婚されていたんだねえ。それと新潟では有名な産婦人科の先生になっていました。沢田(英語)先生もご夫婦で来られていました(挨拶しそびれました)。

市政モニターに応募しました。長谷川市長は「新潟市100万人都市」構想は時代の要請と語り、新潟市民病院は21世紀モデルと評価されているとのこと。

六左衛門先輩と再会、先だっの取材も覚えておられ、今回は東京の同窓生へ、「宇越線ミニ新幹線」で空港への直通乗り入れ、また、「空港の沖合3000メートル滑走路」等で新潟が交通の要衝となることで日本海代表都市に成長していく新潟に郷土愛を、とのこと。前職新潟の支社の荒木陽一先輩(82回)とはビジネスのジョイントを。会社の課長に三膳義久先輩(79回)が。行きつけのお店、北浜通「玄徳」、マスターは中川隆之先輩(86回)。今度、お店主催のコンベに参加します。また、第一高校へ行けば、石黒(数学)先生、関根(世界史・ラグビー)先生とお会いするかもしれません。

…新潟は水がおいしいので水割が進みます。

6月23日新人歓迎会には必ず行きます。幹事会の皆さん。新潟と東京を週に2往復する田中利直先輩(86回)、五十嵐美佐(104回)さんの就職祝いしてませんね。若松力先輩(81回)、その後お元気ですか?お会いするのを楽しみにしています。

新人歓迎会 講演会

講師紹介



村山弘義 (63回)
青陵法律事務所
弁護士

講演タイトル
「刑事司法の課題」

グローバル化時代の到来など日本の司法会にも新たな課題が生まれています。検事として要職を歴任され新たに法律事務所を開設された村山弘義氏(63回)の貴重なお話を伺いたいと思います。

略歴

学歴

昭和 30年 3月 新潟県立 新潟高等学校卒業
34年 3月 国立 新潟大学卒業
人文学部卒業
34年 10月 司法試験合格
37年 3月 司法研修所修習終了

略歴

37年 4月 検事任官 札幌地方検察庁 検事
40年 12月 東京地方検察庁 検事
50年 4月 司法研修所教官
57年 4月 東京地方検察庁
総務部副部長
62年 3月 東京高等検察庁 検事
平成 2年 1月 最高検察庁 検事
3年 12月 長野地方検察庁 検事正
5年 6月 福岡地方検察庁 検事正
7年 2月 最高検察庁 公判部長
7年 8月 同 公安部長
9年 6月 札幌高等検察庁 検事長
10年 7月 名古屋高等検察庁 検事長
11年 4月 東京高等検察庁 検事長
同年 12月 退官
12年 1月 弁護士登録
(第一東京弁護士会)

所属団体 法曹界

日本法律家協会
日本刑事政策研究会

平成12年度 東京青山同窓会
新人歓迎会のお知らせ

【日時】

平成12年6月23日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開始

【会費】

一般・8000円

女性・5000円

大学生・3000円

新人・2000円

【会場】

東京・紀尾井町

ホテルニューオータニ

「おり鶴・麗の間」

(本館アーケード階)

千代田区紀尾井町4-1

TEL. 03-3265-1111 (代)

【講演会】

講演テーマ「刑事司法の課題」

【懇親会】

ブッフェパーティー



最寄り駅

【永田町駅・徒歩3分】半蔵門線(7番出口)

【赤坂見附駅・徒歩3分】丸の内線・銀座線(紀尾井町口)

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを
明記し、右記の費用(切手にて)を同封
の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

同窓会年会費
自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらない「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の新人歓迎会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が
省けます

振替手数料が
無料になります

IDカードとして
お持ちください

H11.10.1～H12.4.30現在まで

感謝
56回学年幹事宗
村禎三氏のご尽
力により、69名の
会費をご入金い
ただきました。
(事務局拝)

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてまたは指定銀行口座までお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)